

単
元
名

～ヒトの臓器について調べ、ヒトの体への理解を深めよう～

「ヒトや動物の体」

教科書出版社名（ 啓林館 ）

○ 小学校（ 6 ）年 教科等（ 理科 ）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

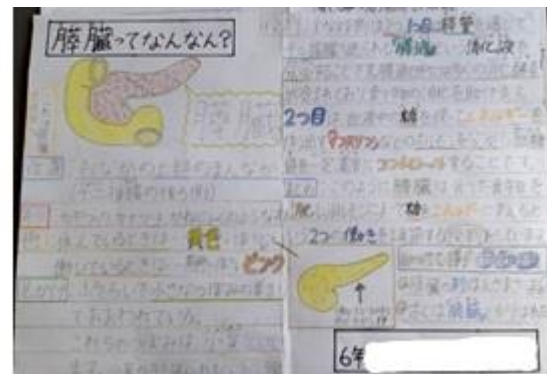
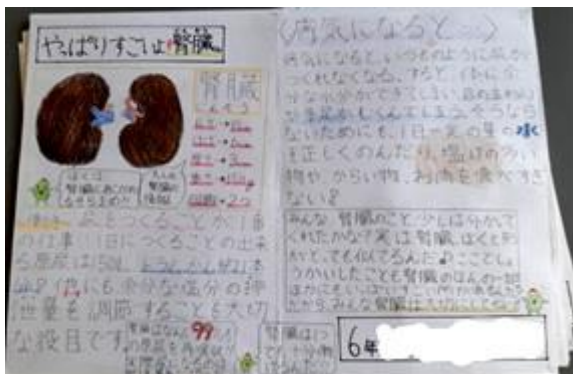
・設定した課題について、資料から必要な情報を選択し、それらをまとめて発表する力。

○ 学校図書館活用のポイント

- ・1人1冊ずつ本が行き渡るように、公立図書館から関係する本の団体貸し出しを受ける。
- ・自分の担当の臓器について、様々な資料から必要な情報を見つけることができるよう、1つの臓器について複数の本を用意する。
- ・本から情報を見つけるにあたって、目次や索引の使い方・ページから必要な情報を見つけるポイントなどを確認する。

○ 学習の展開（全5時間）

第1次	<ul style="list-style-type: none">・課題「ヒトの内臓について詳しく調べよう」の説明を行い、グループで集まって担当を決める。・目次や索引の使い方を学習する。・自分の担当する臓器について、本から必要な情報を見つけて記録カードにメモをする。
第2次	<ul style="list-style-type: none">・同じ臓器担当で集まり、集めた情報を整理する。・調べてわかったことを紙にまとめ、発表の練習をする。
第3次	<ul style="list-style-type: none">・発表会を行い、学習を振り返る。



【取組みを終えて】

○ 学校図書館を活用した学習における成果と課題

① 成果	・多くの資料にふれることで、担当する臓器に対する理解が深まった。 ・目次や索引の使い方を確認したことにより、それらを上手に用いて情報を適切に見つけられる児童が多くみられた。 ・自分にとって必要な情報かどうかを見極める力を養うことができた。 ・紙にまとめたり発表したりする際には、調べた本の割り付けや順序を参考にして、効果的に表現する方法を学ぶことができた。
② 課題	・本に載っていることを自分なりに理解し、まとめることに課題がある。内容や言葉の意味を理解できていないまま、本の情報を丸写ししてしまう児童も少なくなかった。 ・担当した臓器については理解が深まるが、それらの相互関係までは捉えられなかった。全体が把握できるような情報共有や発表の仕方の工夫が必要である。
③ 児童の感想・ふりかえり	・ふだん見ない本を見たり、書いたりして、情報を集めているときがすごく楽しかった。絵をかいている本はわかりやすかった。本番の紙に書くときも、見た人が調べた臓器についてわかりやすく読めるように、書き方もすごく注意しながら書きました。 ・心臓について調べるときに、本に書いていることがすごく大事なことばかりで、まとめるのがむずかしかったけどがんばりました。また心臓についての本じゃなくても少し心臓が関係していたりして、心臓のことがのっていたりして面白かったです。 ・私が本で調べて分かったことは、本には色々な種類があって、たくさんの情報があるのだと思った。だから本はすごく役立つのだと思う。そして調べるのが少し好きになりました。私はこれから調べ学習をがんばります。 ・私は調べ学習をして、予想以上にむずかしいなと思いました。理由は、大切なところをまとめたりしなければならぬからです。でも、まとめたりするときでも、楽しさもありました。調べ学習をして、むずかしいことも楽しいこともあって、とてもいい調べ学習でした。

○ 学校図書館を活用した際に注意した点や学習の中で工夫した点について

・学校図書館にある本だけでは数が不十分であったため、公立図書館から団体貸し出しを受けて1人1冊行き渡るようにした。 ・一定時間毎にグループで本をまわし、全ての本に通り触れられるよう工夫した。 ・記録カードを用意し、調べてわかったことだけでなく調べた本について、出版社、著者なども書くようにした。

(参考資料)

『改訂版調べ学習の基礎の基礎』ポプラ社 赤木かん子

『調べるって楽しい！－探求的な学習はじめの一步－』埼玉県立家久喜図書館子ども読書支援センター

記録カード

年 組 名前

調べること	調べた日にち 月 日
本の題名	ページ
出版社	出版年
作者・著者	
分かったこと	